

藤沢市中学校給食検討委員会検討結果報告(概要版)

(設置目的)

中学校に在籍する生徒の食を取りまく現状を把握するとともに、中学校給食における食育の課題整理、さらに今後の中学校給食について検討・協議を行う。

(中学校の昼食に対する意識アンケート調査)

・調査期間:2012年(平成24年)7月10日～7月20日

・回収状況

小学校(16校6年生1クラス)	523人
中学校(18校2年生1クラス)	625人
小学校保護者(アンケート実施した6年生の保護者)	444人
中学校保護者(アンケート実施した2年生の保護者)	460人
中学校教師(18校2年生担任)	47人
計	2,099人

・アンケート調査結果

■学校で授業のある日に食べる昼食はどちらが多いですか

	中学2年生 (問1)回答 624人	
家庭から持ってくる弁当	606人	97.0%
コンビニや学校販売の弁当・パン	18人	2.9%

■学校での昼食時間の長さはどうですか

	中学2年生 (問2)回答 624人	
短い	336人	53.8%
ちょうどよい	268人	42.9%
長い	20人	3.2%

■ 中学校での昼食はどの方法が良いですか

	小学6年生 (問1) 回答 523 人		中学2年生 (問3) 回答 624 人		小学生保護者 (問1) 回答 444 人		中学生保護者 (問1) 回答 460 人		中学校教師 (問1) 回答 47 人	
家庭からの弁当持参を基本とする方法	160 人	30.6%	194 人	31.0%	21 人	4.7%	52 人	11.3%	30 人	63.8%
学校給食方式	120 人	22.9%	245 人	39.2%	318 人	71.6%	307 人	66.7%	4 人	8.5%
全員が弁当箱方式(デリバリー方式)	68 人	13.0%	40 人	6.4%	42 人	9.5%	32 人	7.0%	1 人	2.1%
家庭からの弁当持参か、弁当箱方式(デリバリー方式)の選択制	175 人	33.5%	145 人	23.2%	63 人	14.2%	69 人	15.0%	12 人	25.5%

(給食実施方法について比較検討)

中学校給食実施市の実施方法としては、主に単独校方式、センター方式、デリバリー方式があります。

・単独校方式(建設費+年間運営費:83 億円~85 億円)

市の小学校と特別支援学校で実施している方式です。特徴といたしましては、校内で給食を調理するので学校行事などへのきめ細かい対応や食育指導やアレルギー対応が行いやすいなどの反面、調理場の建設など初期投資が最も高額となり、校内に建設用地を確保できない学校があることや、中学校における昼食の時間が短いと感じている生徒が多い中、配膳や片付けなど日課表に与える影響が大きいなどの課題があります。

・センター方式(建設費+年間運営費:50 億円~57 億円)

単独校方式よりも少ない初期投資で完全給食が実施でき、一定のアレルギー対応も行える反面、センター建設地の確保と学校側の配膳室の工事などが必要になってまいりますし、単独校方式と同様に日課表への影響の問題もあります。

・デリバリー方式(建設費+年間運営費:4 億円~13 億円)

最も経費がかからず、全校実施もそれほど時間がかからず実施することができますが、食中毒の拡大などのリスクが大きいこと、他の方法と比較して喫食まで時間がかかることなどや、実施する際に「学校給食衛生管理基準」を満たす業者の確保等の課題があります。

(まとめ)

中学校における給食につきましては、成長期にある生徒にとっては栄養のバランスのとれた安全安心な食を摂取できる重要な機会であり、国や本市の食育推進計画においても給食を通じた食育指導が望ましいとしております。

一方、実施方式の比較検討でもありましたように、それぞれの方式についてメリット・デメリットがあり、検討委員会としては最終的に一つの方法には絞りませんでした。が、ライフスタイルの多様化など社会情勢が複雑になる中、中学校で栄養バランスのとれた食育に結びつくような給食が実施されることが望ましいと結論に至りました。

このため、本市教育委員会において中学校給食を実施するにあたっては、子どものことを第一に考えたうえで、中学校現場の意見に充分配慮して、食指導の実践の場となるよう希望します。

#### 藤沢市中学校給食検討委員会 委員名簿(平成 24 年度)

	選出区分	役 職	氏 名
1	学識経験者	神奈川県立保健福祉大学 教授	山本 妙子
2	藤沢市立小中学校校長会	高浜中学校長	中村 浩幸
3		大越小学校長	藤田由利子
4	栄養職員	大清水小学校 栄養教諭	椿 恵美子
5	小中学校教諭	高倉中学校 教諭	奥井 隆夫
6		御所見小学校 教諭	三國 仁史
7	PTA連絡協議会	会長	岩野 妙子
8		副会長	田中 孝史
9	市職員の代表	(第 8 回まで)	吉澤 宏直
		(第 9 回より)	丸田 秀
10	教育総務部長		桑山 光生
11	教育総務課長		中島 徳幸
12	教育指導課長		高石佳久子
13	学務保健課長		吉住 潤